

■熟議 ・子どもに身に付けさせたい力

・「笑顔で強くたくましい子」を実現させるための手立て

- ・先程、プール学習の様子を見学した。子どもたちに、ぜひ着衣泳の指導をお願いしたい。
- ・あいさつについて、登下校の際に子どもたちはできるようになってきている。会話については、ぜひ「目を見て、はっきりと」を徹底させたい。
- ・子どもが地域に馴染めるイベントが少ない。子どもと地域が日頃から顔を合わせる事が大切と考える。
- ・安心安全が土台となって、子どもたちの笑顔がある。地域で防犯パトロールの実施を。
- ・子どもと地域一緒になって何かを造るのはどうか。達成感を一緒に味わうことができる。
- ・子どもは、競いながら強くたくましくなるものである。
- ・縦割り班活動について、昔は近所のガキ大将が下の者たちの面倒を見ていた。縦社会を子どもたちに経験させれば、優しさが生まれる。大切な活動と考える。
- ・いつも地域社会に守られる学校ではなく、逆に働きかけられる学校になってほしい。色々な場所に子どもたちが訪問するなど。公民館では、七里中の生徒が利用者に働きかけていて、大変喜ばれている。
 - 以前、子どもたちに夏祭りのお願いをしたら、断られた。事故があつたらいけないからと..。一緒に何かをするのは大切なこと。
 - 子どもとお年寄りのふれあいの場がない。公民館には、お年寄りが大勢いる..
- ・七里小学校には、開校130周年時に作った歴史資料室がある。その際、地域の方々から、昔の物を色々いただいた。開校150周年として、子どもと地域が一緒になって何か作れないか。
 - 資料室へは、学校公開日に入れるのか。
- ・50年後も、より地域から愛される七里小学校のために、新企画「スマイル!NANASATO200」の実施を。地域での子どもたちの見守りを強化したい。
- ・通学班について、どこが母体で、誰が編制するのか等について教えて欲しい。
 - 通学班は、保護者が基本となって構成するものとする。
 - 学校によっては、無い所もある。
 - 子どもたちは、通学班で規範意識を学ぶ。
 - 子どもが一人で来るのは困る。
- ・子ども会への子どもの加入率について教えて欲しい。地元の情報がもっと欲しい。
 - 子ども会は、七里地区に少なくなっている。